

令和  
5年度

白石区ふるさと会 / 札幌市白石区

PRリーフレット  
SAPPORO

# 白石でっち奉公 奮闘記



白石でっち奉公は、小・中学校の児童・生徒が、実際に就労体験する事業です。

次代の白石を担う子供たちに、地域で働くことを通して、学校や家庭ではできない体験をさせてあげたい。働くことの大切さや楽しさ、ふるさと白石の良さを知ってほしい。そのような想いから「白石でっち奉公」は誕生しました。

平成13年に白石区ふるさと会の主催で始まったこの事業は、「地域で子どもたちを育てよう」という趣旨が広く受け入れられ、現在は白石区ふるさと会と白石区が区内小・中学校と連携して実施しています。令和5年度は9校1,304名の児童・生徒が参加しました。

なお、この取り組みが子どもたちの「キャリア教育」の充実に効果があると認められ、白石区ふるさと会は、平成24年度「文部科学大臣表彰」(文部科学省)及び「キャリア教育推進連携表彰」(文部科学省、経済産業省)を受けました。

## 令和5年度白石でっち奉公 実施概要

### ◆実施日・参加校

9月14日	北都中学校	161名(2年生)	11月8日	東白石中学校	129名(2年生)
10月23日	西白石小学校	39名(5年生)	11月9日	米里中学校	118名(2年生)
10月24日	白石中学校	149名(2年生)	11月17日	北白石中学校	237名(2年生)
11月1日	幌東中学校	140名(2年生)	11月22日	日章中学校	150名(2年生)
11月2日	柏丘中学校	181名(2年生)			

【参加者数】区内小・中学生1,304名 【受入先】区内企業、団体、施設等136社

※ 当日の急な欠席等により参加できなかった生徒を含みます。